

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



5 県イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト 最優秀賞

1月25日に長崎県庁で開催された「令和元年度長崎県イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト」で、南島原市の代表として出場した中島和香奈さん(加津佐中3年)が、昨年度の優秀賞受賞に続き、今年度は見事、最優秀賞に輝きました。受賞報告のため2月5日、市役所を表敬訪問し、大会で発表した「I have a dream」を披露。流ちょうな英語スピーチで市長を驚かせました。



6 自治会長連合会と懇談しました

1月9日、各町の自治会長などで構成される市自治会長連合会の皆さんと松本市長との懇談会が開催されました。

参加者からは、「市役所の組織改革を進められているようだが、担当部署の把握のために事前の情報提供と、地域住民が最も頼りにしている支所職員数の現状維持をお願いしたい」、「各町のイベントなどへの市職員の積極的な協力をお願いしたい」などの意見がありました。

市長は、「支所は市民の窓口となっている。当面は、現状の人数から減らすことは考えていない」、「職員のイベント参加については、日頃から地域の一人として参加してほしいということを職員に伝えている。今後も機会があるごとに伝えていきたい」と話しました。



第65回「子ども県展」特別賞(知事賞) 石山優希さん(小林小4年) 交通安全啓発図画コンクール最優秀賞(知事賞) 松本紗和さん(有家小3年)



第65回「子ども県展」特別賞(教育委員会賞) 福嶋和奏さん(深江中2年)

4 絵画で最高賞を受賞

県交通安全推進県民協議会の主催による交通安全啓発図画コンクールの小学校低学年の部で、松本紗和さん(有家小3年)が最優秀(知事賞)に輝きました。

また、第65回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」において、応募総数8万232点の中から、小学生絵画部門で、石山優希さん(小林小4年)が特別賞(知事賞)、中学生絵画部門で福嶋和奏さん(深江中2年)が特別賞(教育委員会賞)を受賞しました。



1 4 団体と防災関連協定を締結

1月16日、市は災害時の連携・相互協力に関し、4団体それぞれと協定を締結しました。

■災害対応型自動販売機設置協定

●コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

市施設に設置されている自動販売機について、災害時無料で飲料水を供給する災害対応型自動販売機への切り替えおよび新設、コカ・コーラ配送センター(最寄り)は島原市内)内の飲料水備蓄協力。



■防災パートナーシップに関する協定

●長崎文化放送(株)

避難情報、被害状況についての放送や平常時における災害予防対策に資する活動への相互協力。



■避難所施設利用に関する協定

●国立口之津海上技術学校

避難が必要な災害時において、学校施設の体育館(収容人数260人)、寄宿舎(収容人数120人)の2カ所を避難所として提供。



■災害時における無人航空機の支援協力に関する協定

●(一社)長崎ドローン協会

被災状況について無人航空機(ドローン)を用いた確認、上空からの画像撮影による測量データを用いた、災害復旧に必要な地図作成の支援。

南島原タイムトリップ
～あの頃、君は若かった～



今月の写真 Q. さて、ここはどこでしょう?
A. 答えは次ページの下段をご覧ください。

いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございます～



白川 ミサコさん(有家町)
大正9年1月25日生まれ



3 深江が半島駅伝で優勝

1月19日、第14回島原半島地区対抗駅伝が開催され、深江チームが2年ぶり5回目となる優勝に輝きました。

半島内から12チームが出場し、深江チームは1時間21分14秒を記録。市川栄治監督は「全力を出してタスキをつないでくれた各区間の選手とスタッフ、応援してくれた皆さんのおかげで優勝できた」と話しました。

3位には南有馬チームが入りました。



2 人権擁護委員退任感謝状伝達式

1月16日、人権擁護委員を退任された吉田アツ子さんへ、法務大臣からの感謝状が長崎地方法務局島原支局の堤支局長から伝達されました。

吉田さんは、平成22年10月に委嘱を受けてから9年3カ月もの長い間、委員として尽力され、昨年12月31日をもって任期満了により退任。これまでの活動の功績に対して感謝状が贈られました。